



瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会
 発行責任者：自治会会長 三木 清
 編集委員：草間 透 中西 富美
 発行日：平成29年9月12日
 自治会便り 第39号

2学期を迎えて

暑かった8月も過ぎ、いよいよ2学期が始まりました。

10月初めには体育祭があります。下旬には館外研修で奈良を訪れます。

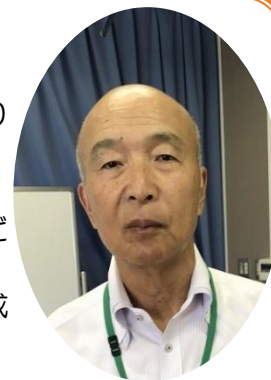
1学期末の講義で仏教についての教養を深めました。実際に仏像を見ることにより学習したことが更に深まるものと期待しています。11月の公開講座では英人落語家による落語を鑑賞します。12月にはアメリカ経済と世界情勢について学ぶ講義があります。このように、教養講座では歴史・健康・世界経済など多彩な講義を予定しています。

地域活動講座では1学期末にグループ編成が終わり、夏休み中に活動計画を作成し、活動されたグループもあるでしょう。2学期から本格的に活動が始まります。計画・実践・振り返り・必要に応じた計画の変更・実践というサイクルによる

「学び方を学ぶ」ことが大学院らしい活動です。卒業後に、地域でも活動できる実践力の育成を目指します。

残暑の残る9月から、勉学の秋、そして寒さが厳しくなる12月末までと、大きな季節の変化の中で充実した学習を進めていきたいと考えています。

教務副主任 橋田 和典



教育講座感想

仏教の話 ー奈良の仏たちー

坂上教授の用意された資料を手にし、平生、雑誌や旅番組 旅先での見学等で得た僅かな知識のみの者にとってその数の多い事に 驚きました。講座の内容を自分なりに整理してみますと

○ 仏像の種類について

- ・如来像には 釈迦如来・阿弥陀如来・薬師如来など計5像
- ・菩薩像には 弥勒菩薩・観世音菩薩（十一面観音など4観音）
学問の文殊菩薩・記憶力の衰えに虚空蔵菩薩・地域馴染みの地藏菩薩の5像
- ・明王像は不動明王・孔雀明王・愛染明王の3像
- ・諸天像として四天王・金剛力士（仁王） 梵天・帝釈天 吉祥天など10像

○ 仏・菩薩像に具体的にあらわされる特相として

- ・三十二相（足の裏が平とか/身長が手を横に広げた長さに等しいなど32種類という大きな特徴）
- ・八十種好（耳たぶに穴が開いているとかのどに3本のしわがあるとか80種類及び小さな特徴）

○ 東大寺の話として

- ・東大寺のキーワード（平城京・聖武天皇・二月堂・修二会・南大門・大仏殿など）
- ・東大寺の創建と再建など歴史の変遷について学びました

最後に、この秋（10月）館外研修として訪れる「安倍の文殊院」の紹介がありました

人は、幸せな人生のために 努力し 思い巡らせ 自分の力の限界を知るとき頼み求め 祈る心から 多くの仏像が造られたのでしょうか？ 興味深い学びでした。

2年 須藤千代子



館外研修

連日の熱帯夜、88歳の老身には過酷そのもの、だが故あって折角入学した大学院、先輩の皆様や、8人の同期生には迷惑をかけられないと、老心を鼓舞して皆さんの後を遅れないようにと付いて回る。

先生のリアルな説明解説を聴くことは、難聴の自分には半分も耳に残らない。若い人達はスマホやカメラを活用し、又サンプルに枝葉や花を袋に収集している姿を後方より只々眺めるみじめな自分、先生の説明も佳境に入り段々池の方へ降って行く。脚力に自信の無い自分はこれ以上降りては帰りの登りが大変と、途中で皆と別れて展示館へ引き返す。さてせめて何か一つでも自分の心に残る

収穫をと先生も力説されたメタセコイアの大株の周りに掲示されているポイントを約30分余りかけてメモ帳に書き、メタセコイアの故事来歴を理解できたことに大きな満足感を得た。池の方に降った皆さんも12時半頃展示館に集まり、最後の研修弓削牧場の昼食に13時過ぎに入りやれやれ。でもいい研修が出来たと満足の日だった。 1年 山田 一也

神戸森林植物園を訪ねて



瑞唱会 (カラオケ)

H29年度の会員数は、1年生2名、2年生11名の計13名で活動しています。月2回の登校日の授業終了後、研修室3で練習特別な講師はもうけず、学生独自に与えられた課題曲を何回も何回も大きな声を張り上げて歌っています。上手も下手ありません。ただただ胸を張って音符に向かって集中するその時間が健康維持にも繋がっているのではないかと実感いたします。数少ないメンバーですが、少ないなりにアットホームなあたたかいつながりのあるクラブ運営をめざしています。

・毎月の登校日 練習の日男女別課題曲の練習



クラブ紹介

大学院らしい(?)クラブ活動をめざして講座を中心とした研修に励んでいます。三木市の史跡などを中心に講師による座学(まなびの郷みずほの研修室にて)で勉強、時には市の福祉バスを利用して館外講座をもっています。

また、年に1回は市外に出て歴史建造物などの見学を実施いたしております。今年の会員数は、1年生8名を新たに迎え、2年生18名、OBの方々25名の総勢51名になり、10年以上の歴史あるクラブです。

7月には、講師として教育委員会文化・スポーツ振興課の廣井 愛邦先生を迎え、「新三木市史編さん事業について」の授業をうけ、歴史資料館で日夜進めている三木市の歴史資料作りの苦勞を学びました。秋以降は、9/26に秀吉本陣跡の探索や12/1には小京都といわれる出石方面に出かけて歴史を学ぶ予定です。

郷勉会

7/30 (日)

今年も早朝7時から院生13名を含む高大生・学友会の100名以上の参加のもと、花火大会のお掃除ボランティアとしてサッカー場周辺を中心に、おしゃべりも随時取り入れて約1時間—何か気持ちまでスッキリした気分になりました



ボランティア活動

8/8 (火) ~9 (水)

今年の交流キャンプは、史上最大71名の参加者でした。地元細川・口吉川の小学・中学生の元気な姿を見るにつけ我々も元気づけられます。昨年とは趣向の違うたまねぎ染・万華鏡作り・科学教室・手話口座などが取り入れられました。一方クッククラブのクッキー作りや写真クラブの撮影などは昨年通り 子供たちの夏休み思い出さくになったようです。

多数のご協力

ありがとう

特別養護老人ホーム「しゅうらく苑」の夏祭りでは、院生11名がボランティアとして参加。たこ焼き・おでん・アイスクャンディー・焼そば作りなどのお手伝いをしてお祭りの盛り上げに汗を流しました

